

環境活動ノート

活動名

東栄中学校“食いしん坊ファーム”

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2023



東栄中学校特別支援学級には、27名が在籍しています。私たちは、学校にある温室と畑を学級菜園として代々受け継ぎ、フードリサイクル堆肥を使った野菜栽培に取り組んでいます。

私たちは、この畑を「食いしん坊ファーム」と名付けています。私たちはここで、植物や天気などの理科の学習や、栽培などの職業(技術)の学習をしています。そして、ここで育てた野菜が大きく成長し、真っ赤なトマトや、おいしいきゅうりを収穫することが一番の楽しみです。休みが続くと、きゅうりが野球のバットのように大きくなることもあります。

昨年からは、この畑に看板を立て、作物ごとに表示も付けました。また、玄関に一番近い掲示板を使って、畑の様子について紹介しました。すると、全校生徒の皆さんだけでなく、先生たちも、「食いしん坊ファーム」のことを注目してくれるようになりました。

参加
団体名

札幌市立東栄中学校

- 小学生の部
- 中学生の部
- その他団体の部

当てはまるものにチェックしてください。

環境活動ノート

活動名

クリック募金とフードリサイクル堆肥の活用

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2023



家庭菜園が得意な校長先生が、じゃがいもの植え方や育て方について教えてくれました。また、教頭先生は、北海道でもサツマイモを育てられることを教えてくれました。さらに、いつの間にか“クリック募金”に応募してくれ、学校にたくさんの苗が届きました。苗を植える前に、理科の時間にその苗の観察をすると、同じ品種の苗でも、葉の色や大きさ、茎の太さなどが違いました。また、葉はみんなツルツルしていると思っていましたが、ざらざらやチクチクするものもありました。当たり前のことですが、一つ一つが違うということが分かりました。

また、畑で使っている“フードリサイクル堆肥”について、給食の先生が授業をしてくれました。フードリサイクル堆肥は、給食を作る時の調理くずや食べ残しからつくられた堆肥です。“つくる責任つかう責任”の意味や、自分にできることについて考えました。

参加
団体名

札幌市立東栄中学校

- 小学生の部
- 中学生の部
- その他団体の部

当てはまるものにチェックしてください。

環境活動ノート

活動名

育てた野菜が学校給食に！！

さっぽろ
こども環境
コンテスト
2023



チキンクリームシチューの中に、8組食いしん坊ファームのじゃがいもが入っています。



さっぽろ学校給食フードリサイクル堆肥（肥料）を使って、野菜を育てています。



食いしん坊ファームで植えた種いもは、去年校長先生の家庭菜園で収穫したじゃがいもです。大きなじゃがいもに育ちました。8組の皆さん、校長先生、ありがとうございます！

2022.9.1(木)



収穫した野菜はこれまで、学級の調理学習の材料としたり、家に持ち帰って家族で食べたりしていました。ところが昨年、給食の食材として使ってもらえることになり、私たちのやる気がさらに高まりました！そして、大根が豚汁に、じゃがいもがクリームシチューになりました。

今年は、食いしん坊ファームのことをもっと知ってもらうために、マスクットキャラクターを作りました。さらに、秋に収穫されるじゃがいもと大根を使って食べたいメニューについて、給食の先生が全校に募集してくれました。その中から採用されたメニューが、11月の献立となり、東栄中学校と開成中等教育学校、合わせて1000人分の給食となりました。

私たちの「食いしん坊ファーム」は、たくさんの人のつながり、そして、自然のつながりの中でできています。このつながりをさらに広げ、環境について考えるきっかけを広げていきたいと思っています。

参加
団体名

札幌市立東栄中学校

- 小学生の部
- 中学生の部
- その他団体の部

当てはまるものにチェックしてください。